

あしなが学生募金事務局員・100人の声 アンケート（自由記述）						
目的：貧困家庭の実体験を知るため（こども家庭審議会に当事者の声を届けるため）						
対象：あしなが学生募金事務局員128人からの回答。						
※1 あしなが育英会の奨学金を受けている学生が9割を占める						
※2 大学生、専門学校生らで構成されている、全国組織						
期間：2023年7月10日～16日						
方法：インターネットアンケート						
生活するうえで困った（つらいと思った）エピソードを教えてください。						
1 経済的な困窮について （具体的なエピソード）	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境	
01-01 牛乳1本でさえ買うのが苦しかった時期があった	愛媛県	大学	2年生	女性	父親を亡くした	
01-02 同じ大学の人との金銭的な格差を感じるが多々ある。 （旅行、持ち物、遊びに使うお金、プレゼントなど）		大学	3年生	女性	父親を亡くした	
01-03 基本仕送りが無い		大学	3年生	男性	母親を亡くした	
01-04 物品を買う際に躊躇ったりすることがあった。 （アルバイトなど）		大学	2年生	男性	母親を亡くした	
01-05 働く場所がないこと		大学	2年生	男性	父親を亡くした	
01-06 バイトに行く時間がない	兵庫県	大学	2年生	男性	父親を亡くした	
01-07 物価がどんどん上がり、買い物を気軽にできなくなりました。 日常的にお金のことを考えなくてはならないのが大変です。 お金が必要だからバイトを沢山したいけれど、そうすると勉強をする時間が足りなくなり、学校についていけなくなってしまう、両立が難しいです。	熊本県	大学	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった	
01-08 生活費を稼ぐために、勉強時間を犠牲にした。 （不安など）	神奈川県	大学	4年生	女性	父親を亡くした	
01-09 祖父母に引き取って育ててもらったため、幸いなことに困ったことはなかった。父からよくお金がないと言われていた		大学	3年生	女性	母親を亡くした	
01-10 常に金銭的制約があり、周囲と同じような生活ができず、のびのびと生活してこれなかったこと。		大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった	
01-11 自分は、趣味などは全て自分のお金で賄っていたり、我慢を基本しているので、辛いと思うことはあまりなかったが、経済的にもう少し状況が良ければ、他にも色々な選択肢等があったのかなと思うことはある。	千葉県	大学	3年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった	

01-12	もし、一人暮らしをして家賃が自分で払えるか不安になったこと。	東京都	大学	2年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
01-13	留学に行きたいけど、金銭的な理由で気軽には行けない。	群馬県	大学	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
01-14	父親が精神障害で頼りにならず、虐待も受けたことがあり、理想の父親に飢えていた、心が傷ついていた。現在も他の家庭の父親を見るとうらやましく思ったりすることがある。また、父親が借金を隠していて、大学の授業料が払えるか、来月食べていけるのか不安になったことがあった。	岐阜県	大学	2年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
	2 ヤングケアラーに関すること	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
	(家事・きょうだいの世話)					
02-01	先程回答した介護のフォームは過去の話です。ガンを患った父がアルコール依存になり働かず、母がパートで稼いだ月9万で弟含む4人家族で暮らしていたのが大変だった。父が亡くなってからも病気の療養費が過去にかかっていた為ほぼ貯金がゼロで、母がワンオペになったことにより小学生2人を家に長く置き去りにすることが出来ず、仕事面にも支障をきたした。		大学	2年生	女性	父親を亡くした
02-02	私の家庭の場合は父がいわゆる主夫として家事をこなし、母が働きに出ていたので、父親が亡くなったことによる影響は主に家事についてのものだった。そのため、父が亡くなってからは家族のために時間を使うことが求められたために、一日の中で以前までは自由に使っていた時間が、父が亡くなってからは少なくなってしまったことに困った覚えがある。		大学	3年生	男性	父親を亡くした
02-03	兄妹がいるとどうしても負担になることが多く申し訳ないと思う気持ちが募るばかりだった。	岐阜県	大学	3年生	女性	父親を亡くした
02-04	小学校5年生のときに母親を亡くして父の家と祖父の家で三姉妹バラバラになって私は中学生1年生から高校3年生認知症の祖父と妹と3人暮らししたり、祖父と二人暮らしをしていた。 気性の荒い人で毎日理不尽に怒鳴られてご飯を作ったり洗濯をしたり、辛かった。 高校2年生になって初めて「ヤングケアラー」という言葉を知った。	東京都	大学	1年生	女性	母親を亡くした
02-05	試験勉強やレポートをしなければいけなかったときに、祖父母に頼まれた手伝いを断ることができず、手伝いが終わった後に無理をして試験勉強やレポートをしたことがつらかったです。 それと電車が止まってしまったときに迎えに来てもらうことができないため、困ってしまいました。	千葉県	大学	2年生	男性	母親を亡くした, 父親を亡くした
	(保護者の介護・看病)					
02-06	精神障がいの親とどう関わり続けられたいのかわからない		大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
02-07	障害を消えているがために体をうまく動かしたりできず、ずっと目を張っておかないといけない状態だった。	広島県	大学	3年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった

02-08	家庭内で家事が回らず家に物が溢れており自分のものと家族のものが区別できず言い争いになることが多々あった。実家のお風呂が使える状態になく、最低限の生活が出来なくてつらかったことがある。	山形県	大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
02-09	ちょっとしたことで母が精神状態を崩すのでそれに気を使わなければならない	兵庫県	大学	2年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
02-10	親や姉が発達障害をもっている家庭なので気持ちの起伏が激しく、それに合わせて生活していくのが苦しく感じる時がある。	東京都	短大	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
	(経済的な側面等)					
02-11	父親が働かない、単身赴任したが家賃や光熱費、保険、自動車保有税など滞納しまくって代わりに祖母や親戚、自分などでかき集めて払っていること。父親を家から追い出したら「自殺する。」とか言い出すから困る。邪魔でしかない。タバコ依存でタバコ買わなかったら道端の拾って吸いに行く。		大学	3年生	男性	母親を亡くした
02-12	生活保護を受給していたため、進学タイミングで担当のケースワーカーから受験校についてしつこく聞かれたことが嫌だった。何をしてもお金お金でお金の話を聞くのが嫌で自室にこもったりイヤホンで音楽を聞いたりして現実逃避すると母から怒られた。とにかく母の極度に寂しがり屋で恋愛依存な側面に振り回されて、母が国際ロマンス詐欺に引っかかったりして私の進学費用まで使われたことがある。	東京都	通信制大学	1年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
02-13	月の食事のほとんどがインスタント。外国人の親とのカルチャーギャップ	大阪府	大学	5年生	男性	父親を亡くした
	3 相談ができない	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
03-01	(家族に相談できない：頼れない)					
03-02	家に帰っても誰も居ないこと。障がい者の母が不安定になったことをきっかけに、母のことを信頼することができなくなった。		大学	3年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
03-03	亡くなった時に親に頼るのはダメだと思って、スクールカウンセラーに通っていたが、それすらも話すことはできなかった。高校の時、スクールカウンセラーの人が親御さんに伝えた方がいいとなったが自分から言えず、担任の先生から伝えてもらった。		大学	5年生	女性	父親を亡くした

03-04	<p>高校生まで母と2人暮らしでした。母は私の前では辛そうな様子をあまり見せなかったのですが、ときおり、辛そうな様子が垣間見え、見てて苦しかったです。母は1人で背負い込んでいる感じがしていたため、私も支えなかったのですが、バイト禁止の高校で何もできず、悶々としていたのを覚えています。私が母親を少しでも楽にしようということで辿り着いたのが、自分のやりたいことを抑えて、母に迷惑をかけない、なるべく母の思うような自分であるということでした。自分を強く抑えつけてしまっていたため、やりたいことも無くなってしまいました。そのような状態で生きているのはじぶんの人生を生きているような感じがしなくて、とても辛かったです。でも母に無理をさせないために当時の自分はそうするしかありませんでした。</p> <p>これが1番苦しかったことです。</p>	宮城県	大学	4年生	男性	父親を亡くした
	(家族に相談できない：異性の家族)					
03-05	母親が家にいない為(長期入院中)、周りの人のように母親との会話や買い物、家事などを一緒に楽しめない。母親と仲良くしている友人に憧れがある。		大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
03-06	父子家庭のため、婦人科等の女の子特有の悩みや不安は相談できなく身近に相談できそうな人もいなかった。	岐阜県	大学	3年生	女性	母親を亡くした
03-07	父子家庭で、女兄弟がいないと誰にも相談できない	東京都	大学	2年生	女性	父親を亡くした
	(周囲に話せない)					
03-08	小中学生の頃、家族の話になった時に、父親がいなかったことや母親と姉に障があることを話すと雰囲気が重くなってしまったため、家族の話になったら避けてしまうことがあった。	兵庫県	大学	4年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
03-09	周囲と家庭環境が違うことで、親が亡くなっていることを全く言えなかったこと。	広島県	大学	3年生	女性	父親を亡くした
03-10	自分の家庭環境について、周りに話したことがない。話していいのかわからない、話せる相手がない。	山口県	大学	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
03-11	普通の会話に上手く入れない(家族についての会話など)	福岡県	大学	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
03-12	ひとり親=辛いみたいな概念は大変です。	宮城県	大学	2年生	女性	父親を亡くした
03-13	周りの目、何も知らないのにかわりそうとひとくくりにされること。	岡山県	大学	3年生	女性	父親を亡くした
03-14	<p>経済的にも精神的にも大変だった。</p> <p>また、世間体も困った。</p> <p>(相談相手がない、どうすれば良いかわからない)</p>		大学	2年生	女性	父親を亡くした
03-15	辛い時に話せる人がいない	京都府	大学	2年生	男性	母親を亡くした, 父が離婚によっていない
03-16	お腹が空いた時に、どうすればいいかわからない。	東京都	大学	1年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
	4 メンタルケアの必要性	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
	(死別したことに関すること)					

04-01	父親が亡くなった辛さや経験を話せなかったこと、父親がいないということ		大学	4年生	女性	父親を亡くした
04-02	父が亡くなった当時は漠然とした不安がありました。	愛知県	大学	2年生	女性	父親を亡くした
04-03	家族からの愛はたくさんもらいました。だから辛いとは言えないし、つらいとおもいたくない。	東京都	短大	2年生	女性	父親を亡くした
	(一緒に暮らす親に関すること)					
04-04	父を亡くしたとき、私は小学3年生で母は専業主婦だったので次の日からすぐに求職をはじめ、帰りが遅く時には日を跨ぐ日もよくありました、その時姉はいましたが学年が上だったこともあり帰りが遅く家に一人にいるということも多かったとき寂しいと感じることも多かったです。		大学	3年生	男性	父親を亡くした
04-05	親が亡くなってからがもちろん1番辛いですが、その次に辛かったのは入院する父をサポートしながら休みなく働く母を見ていたときでした。	愛知県	大学	3年生	女性	父親を亡くした
04-06	小学生の頃、母に会える時間の少なさに辛さを覚えていた。孤独を感じた。	長野県	大学	1年生	女性	父親を亡くした
	5 健康の不安・懸念	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
05-01	母親が仕事をしているので、ご飯を自分で作らなければいけない。自分でご飯を作る事自体、そこまで苦な作業とは言えないが、栄養が偏り体調を崩す事はまれにあった。		大学	3年生	男性	父親を亡くした
05-02	お金が無くて、母が週一回の病院に行かないことがあった		専門	2年生	女性	父親を亡くした
05-03	母親が病死してから、父と二人暮らしだったが、勉強と家事と部活の両立が難しく、とても困ったし、それを私たちの家族は他とは違うからと強要され鬱病になった。	埼玉県	大学	2年生	女性	母親を亡くした
05-04	娯楽費がなくて友達と遊びに行けない。 洋服買いたいけどお金がなくて買えない。 教材や文房具を買いたかったけど高く買えない。いつも光熱費などを気にしてエアコンを我慢することがあった。	兵庫県	大学	1年生	女性	父親を亡くした
	6 制度を利用できない	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
06-01	父は正規雇用で一定の収入があるが、子どもへの送金をしぶり、生活はいつも心許ない。制度や支援の仕組みを利用しようとしても「健在の親を通す必要がある」や「一定の世帯収入があるので制度上厳しい」などと、制度と制度の隙間に落ちる。 身近な大人に裏切られ、他人になんてもっと相談できない。		大学	2年生	女性	母親を亡くした

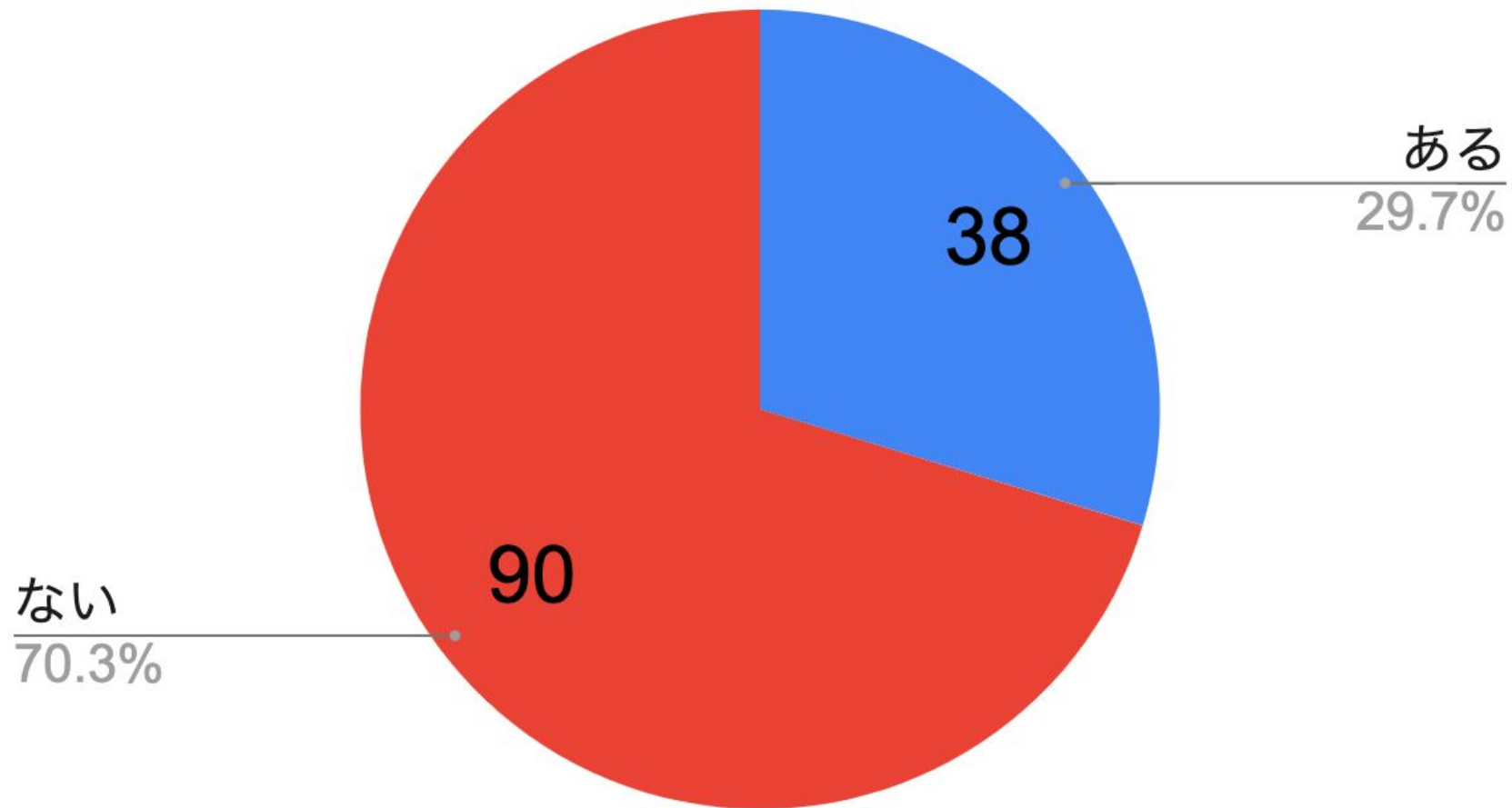
06-02	両親揃って精神疾患になり、家庭環境が悪くなったこと。 母親がいつ自殺してしまうかわからなくて怖かったこと。 お金がなくて習い事ができなかったこと。 親の話や家族の悩みを話したら離れていく友達がいたこと。 経験格差による劣等感がつきまわっていたこと。仲良しな家族を見ると消えたくなくなる。 一人娘なので、親の面倒をいえないといけないのかもしれないけど、もう関わりたくないと思うし、そう思うと自分が悪いような気がして苦しい。できるのであれば、なんの罪悪感も感じずに家族の呪縛から解放されたい。もう1人で生きていきたい。それが許されないのであれば、家族と良い関係を築く方法を教えてほしい。どっちにもなりきれないから苦しい。	東京都	大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
06-03	震災と同時期に、元気だった人を突然亡くしたが、経済面・精神面での支援が震災関連死と比べて圧倒的に少なかったことにやるせなさを感じた。	兵庫県	大学	2年生	女性	父親を亡くした
困ったときにどんな支援・サポートが欲しいと思いましたか？						
	11 経済的な支援について	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
11-01	単純に、心置きなく日々の生活を送れるだけのお金がほしかった。今では何で困っていたのかも覚えてはいないが、しんどかったのは事実であり、金銭的に困っていたことも確かなので、そういったところでの支援は必要だったように思う。		大学	3年生	男性	父親を亡くした
11-02	無償の家政婦、生活費補助（収支より家庭の状況をみてほしい、）		大学	2年生	女性	父親を亡くした
11-03	金銭的サポート（給付）		大学	3年生	女性	父親を亡くした
11-04	親を亡くして間もない頃は問題なくても、将来的な家計の不安定を考慮した支援制度。	福島県	大学	3年生	男性	父親を亡くした
11-05	扶養控除	兵庫県	大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
11-06	通学費が高くて、電車代やバス代を少しでも安く抑えたい。学割のような感じで少しでも電車代が安くなるような支援が欲しい。	兵庫県	大学	1年生	女性	父親を亡くした
11-07	食料支給、家具家電の補助、家賃補助	岡山県	大学	3年生	女性	父親を亡くした
11-08	給付型の奨学金、食料配布等	熊本県	大学	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
	12 頼れる場所・機関・相談相手について	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
12-01	自分自身、困った時に気軽に頼れる機関がなく、学校や行政は敷居が高いと感じてしまうため、同じような経験をした人たちから同じ目線でのサポートが欲しい。		大学	3年生	女性	父親を亡くした
12-02	金銭的面的問題より、精神面で支えがほしかった。家族には言えないことがある、でも周りにも話したくないとなったとき、誰なら良いか子どもだった自分にはわからず悩んだ。		大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった

12-03	困ったら助けを求めるという考え方を教えて欲しかった。 自分が置かれている環境が、助けを求めるといふ環境であることを気づかせて欲しかった。 家以外の居場所になる場所が欲しかった。	東京都	大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
12-04	いつでも相談、お話しできる機関、相手が欲しいです。	神奈川県	大学	4年生	女性	父親を亡くした
12-05	気軽に、相談できる機関(子どもが行きやすいところ)	岐阜県	大学	3年生	女性	母親を亡くした
12-06	心のケアをしてくれる方が欲しかった。また専門家による改善できるところを教えてくださいました。	広島県	大学	3年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
12-07	相談出来る相手が欲しかったです。学校の先生も大学進学のことばかり話していて、個人的な相談を出来る雰囲気ではありませんでした。	東京都	大学	4年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
12-08	相談して解決法を示してくれる窓口が欲しかった。 18歳だと子供として保護してもらえず、しかし社会からは子供として扱われてしまう矛盾が大変つらかった。	山形県	大学	3年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
12-09	父子家庭に生まれた女の子をサポートする支援がほしい (家族に対するケアの機関・制度)	東京都	大学	2年生	女性	父親を亡くした
12-10	母へのメンタルケア	兵庫県	大学	2年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
12-11	金銭面、もしくは父親をどっか連れてって欲しい		大学	3年生	男性	母親を亡くした, 父親ニート
12-12	高齢者に対して、家事支援の他にも農作業のサポートなどがあると時間に余裕ができ、学業に集中することができるためです。	千葉県	大学	2年生	男性	母親を亡くした, 父親を亡くした
12-13	18歳までは医療費が無償でしたが、高校卒業し大学に入学してからの方が学費もかかり経済的負担も大きく、医療費の負担も大きかった。 大学生、専門学生の間も医療費を無償にしてくれたらもっと苦しまずに済みます。親も含めて。病気で親を亡くすと人一倍残った家族の健康にシビアになります。しかし医療費がかかってしまうためにすこしためらってしまいます。母親に病院に行つて欲しいのですが、なかなか母が自分から行こうとしないのがつらいです。もどかしいです。	愛知県	大学	3年生	女性	父親を亡くした
12-14	父親の考え方を教えてくれる機関、お手伝いしてくれるひと。親子共に相談に乗ってくれる機関	埼玉県	大学	2年生	女性	母親を亡くした
	13 居場所に関すること	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
13-01	金銭面での援助はもちろん、私の場合精神面でのサポートがあればよかったと思います。実際に、私が小学生の頃、豊中市の母子寡婦福祉センターが主催するキャンプなどに参加したことで、今でもなお交友のある遺児という共通点のある友人ができました。似た境遇の友人ができたことで、気分が楽になりましたし、心の貧困があるとしたら、満たされたと思います。しかし、積極的に参加していた私でも、年に数回の参加しか叶わなかったため、その機会が多くなればよいなど当時は思っていました。		大学	3年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
13-02	つどいや、同じような境遇を持つ子どもたちの交流の場があって良かった。	兵庫県	大学	4年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
13-03	子供が少し遅くまで集まって大人が見守ってくれる場所が欲しいと感じました		大学	3年生	男性	父親を亡くした

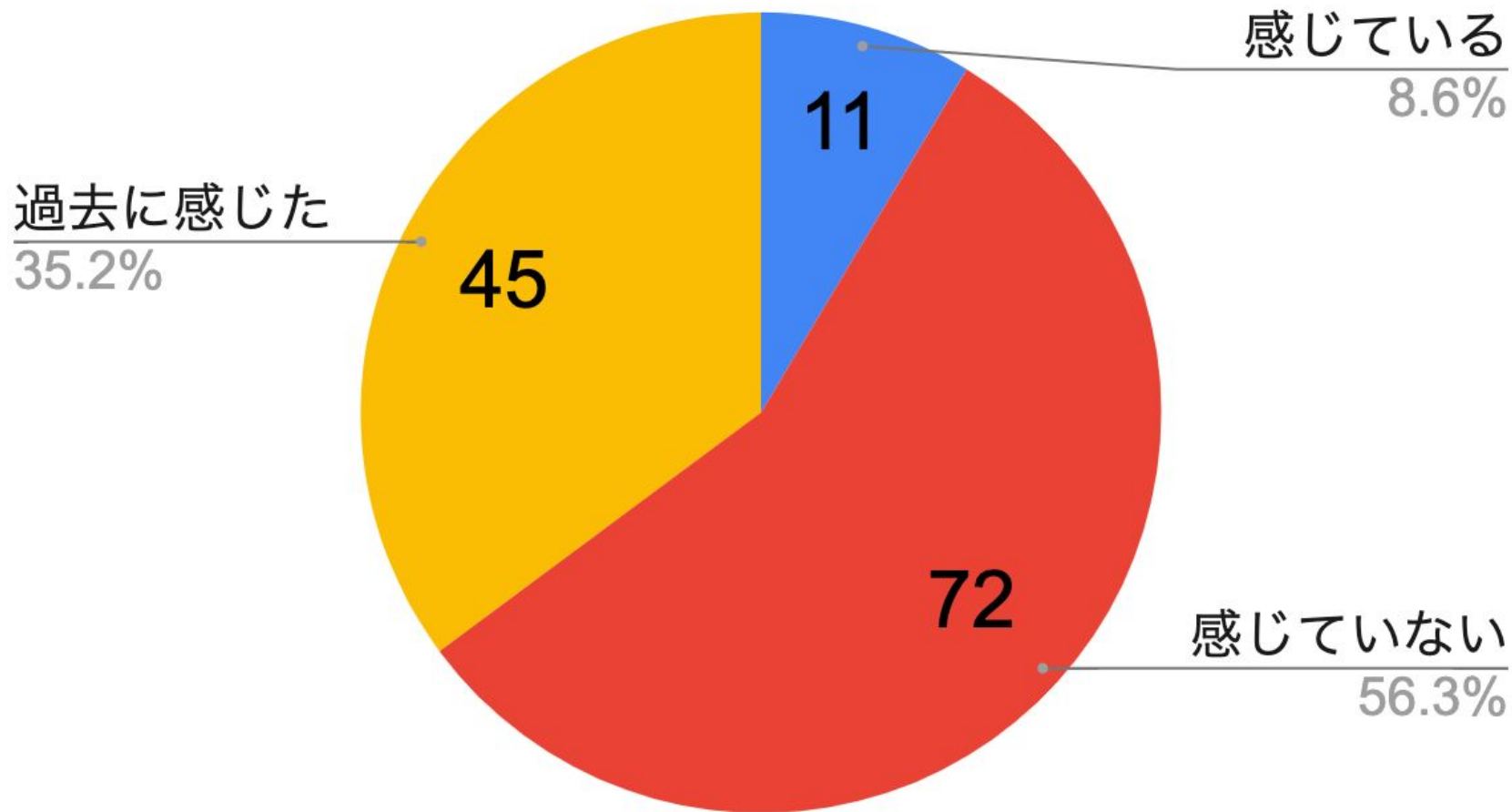
13-04	子供食堂のように子供が集える場所、自分は1人ではないと思える居場所の提供が大切だと思います。		大学	4年生	女性	父親を亡くした
13-05	本音を言えばとにかく逃げたくて一人暮らししたいと毎日思っていた。週に一回家事をしてくださるサービスは受けていたけれどそれだけじゃ正直負担だった。中学、高校時代すごく辛かったのにメンタルケアを受けたことが一度もなかったし知らなかった。自分の家庭環境を誰にも言うことが出来なかった。	東京都	大学	1年生	女性	母親を亡くした
	14 相談場所について	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
14-01	心身が辛いときにお金や親にばれることを気にせずきちんと受診をして治したかった。相談できるところが欲しかった。		大学	2年生	女性	母親を亡くした
14-02	安心して相談できる自分と同じ立場に立って相談を聞いてくれるような支援・サポートがほしいと思いました。		大学	2年生	女性	父親を亡くした
14-03	祖父母がいなかったことを考えたら、高校にも塾にも行けなかったと思います。そしてその状況を伝えられない学生が多いと思うので、誰に伝えれば良いのかが明確にわかるものがあれば良いと思います。		大学	3年生	女性	母親を亡くした
14-04	どんな小さなことでも相談出来る場が欲しい。できれば対面やzoomなどの顔が見ることが出来るものもいい、電話だと話しにくい。		大学	5年生	女性	父親を亡くした
14-05	相談しやすい場所を作ってほしい。	岐阜県	大学	3年生	女性	父親を亡くした
14-06	話を聞いてくれる人		大学	4年生	女性	父親を亡くした
14-07	相談できるサポート	兵庫県	大学	2年生	男性	父親を亡くした
14-08	相談できる人がもう少し欲しい		大学	3年生	男性	母親を亡くした
	15 メンタルケアに関すること	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
15-01	経済的な支援、メンタルケア		大学	2年生	女性	父親を亡くした
15-02	食料配布や必要なものの供給。心のケア	岐阜県	大学	2年生	男性	親が障がいにより働くことが難しくなった
15-03	特に心のケアについて、何の支援もない状態で自力で立ち直るしかなかったため、こども・配偶者それぞれにサポートが欲しかった。	兵庫県	大学	2年生	女性	父親を亡くした
15-04	精神的な心の支えが欲しかったです。	東京都	大学	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
	16 情報支援に関すること	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
16-01	相談できる場所がほしい。早くに親を亡くしてしまったり、親に障害を負ってしまった家庭に、確実に情報が届く制度が整っていたらと思う。	広島県	大学	3年生	女性	父親を亡くした

16-02	遺児家庭への金銭補助や心のケアなどの支援やそれらをもっと広く周知して欲しいと思いました。	宮城県	大学	4年生	男性	父親を亡くした
16-03	相談できる場があることをもっとアピールして欲しい	長野県	大学	1年生	女性	父親を亡くした
	17 自覚や言語化が難しい	都道府県	学校区分	学年	性別	家庭環境
17-01	小さい頃から親に障がいがあることが普通だったため、何に困っているのか何が不安なのか、自分でも分からない	福岡県	大学	2年生	女性	親が障がいにより働くことが難しくなった
17-02	正直わからない、言葉にできない。	東京都	短大	2年生	女性	父親を亡くした

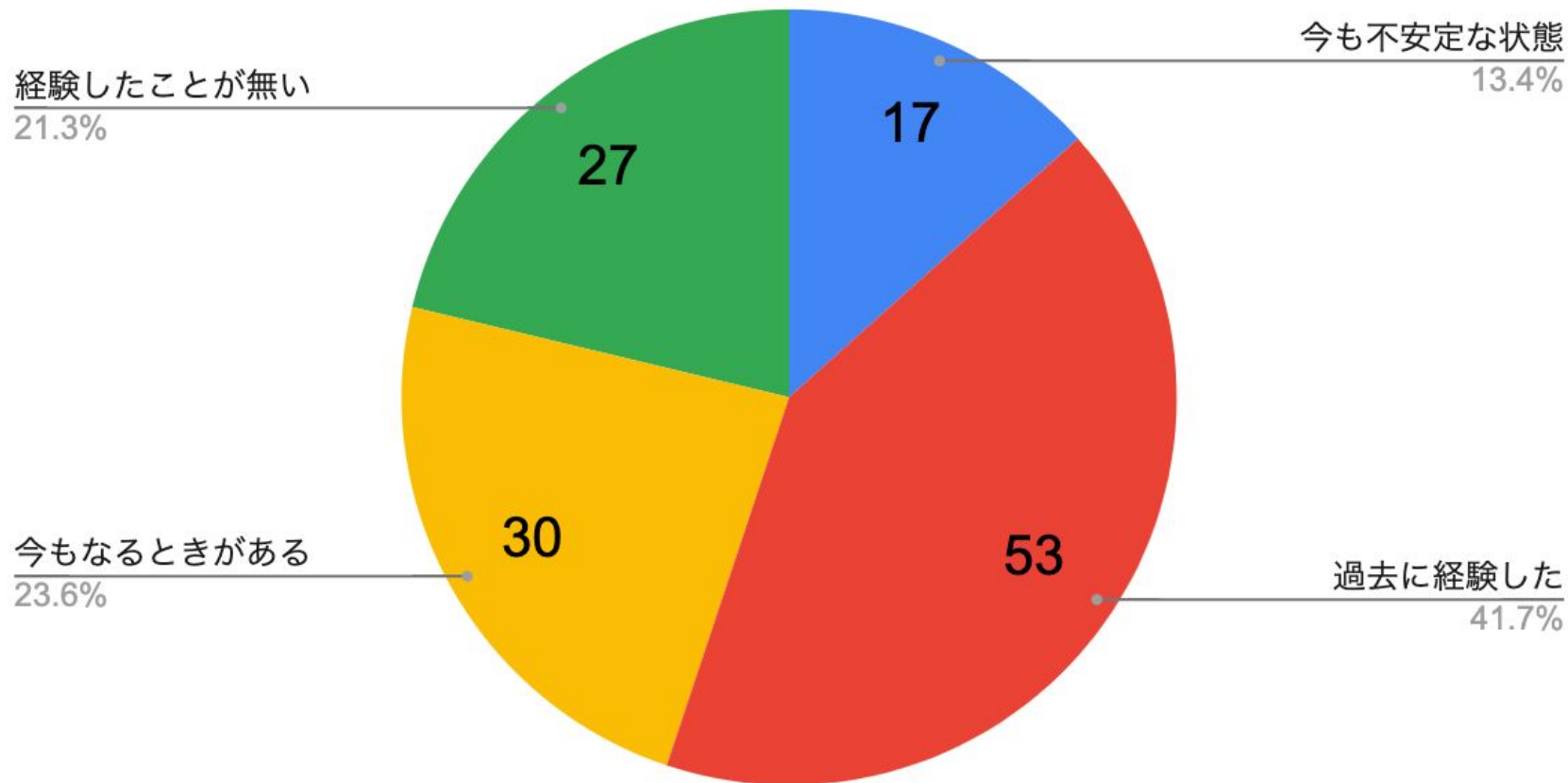
食糧が購入できずに食事を抜いた経験はありますか？



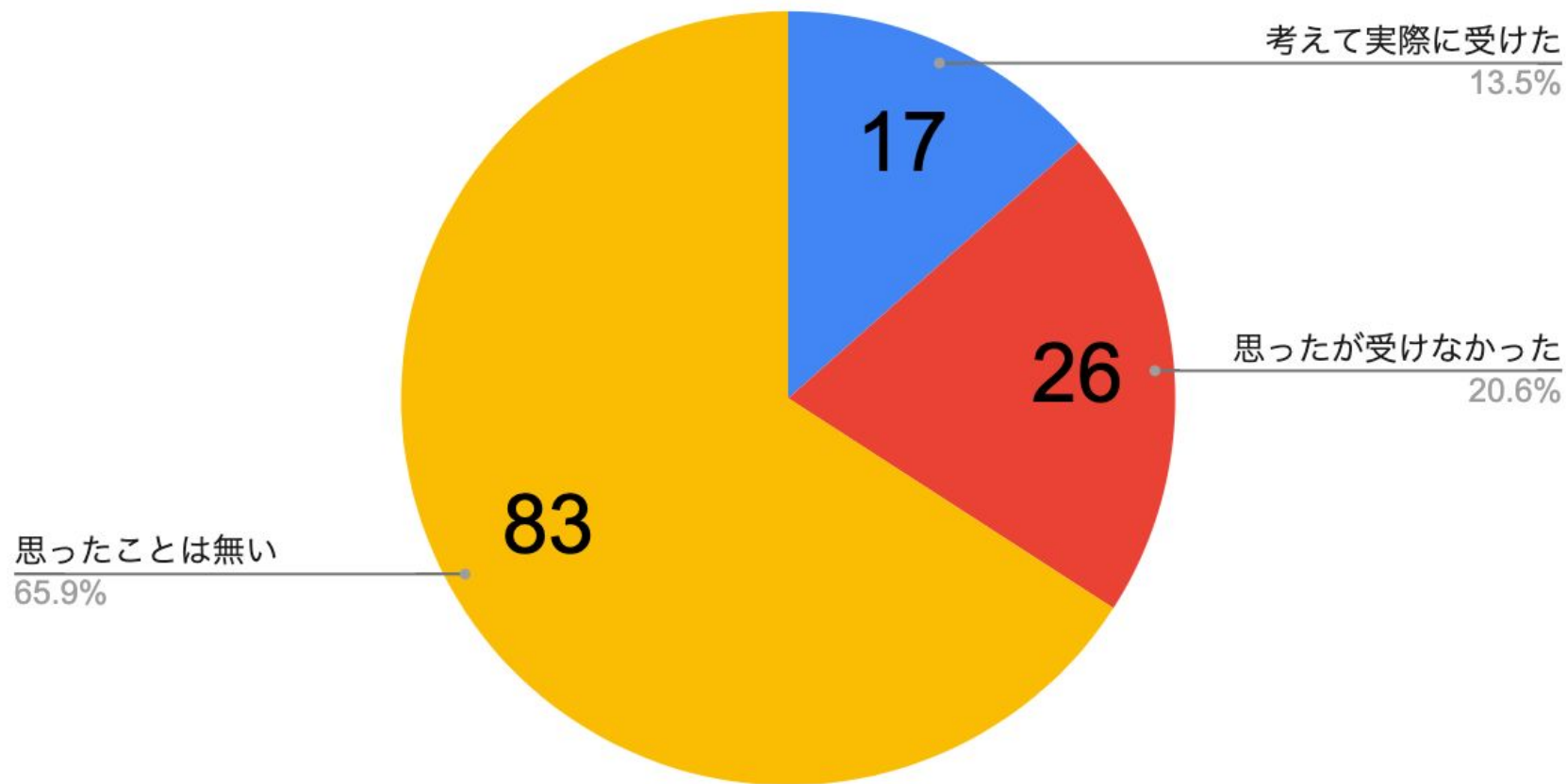
明日の食糧に不安を感じたことはありますか？



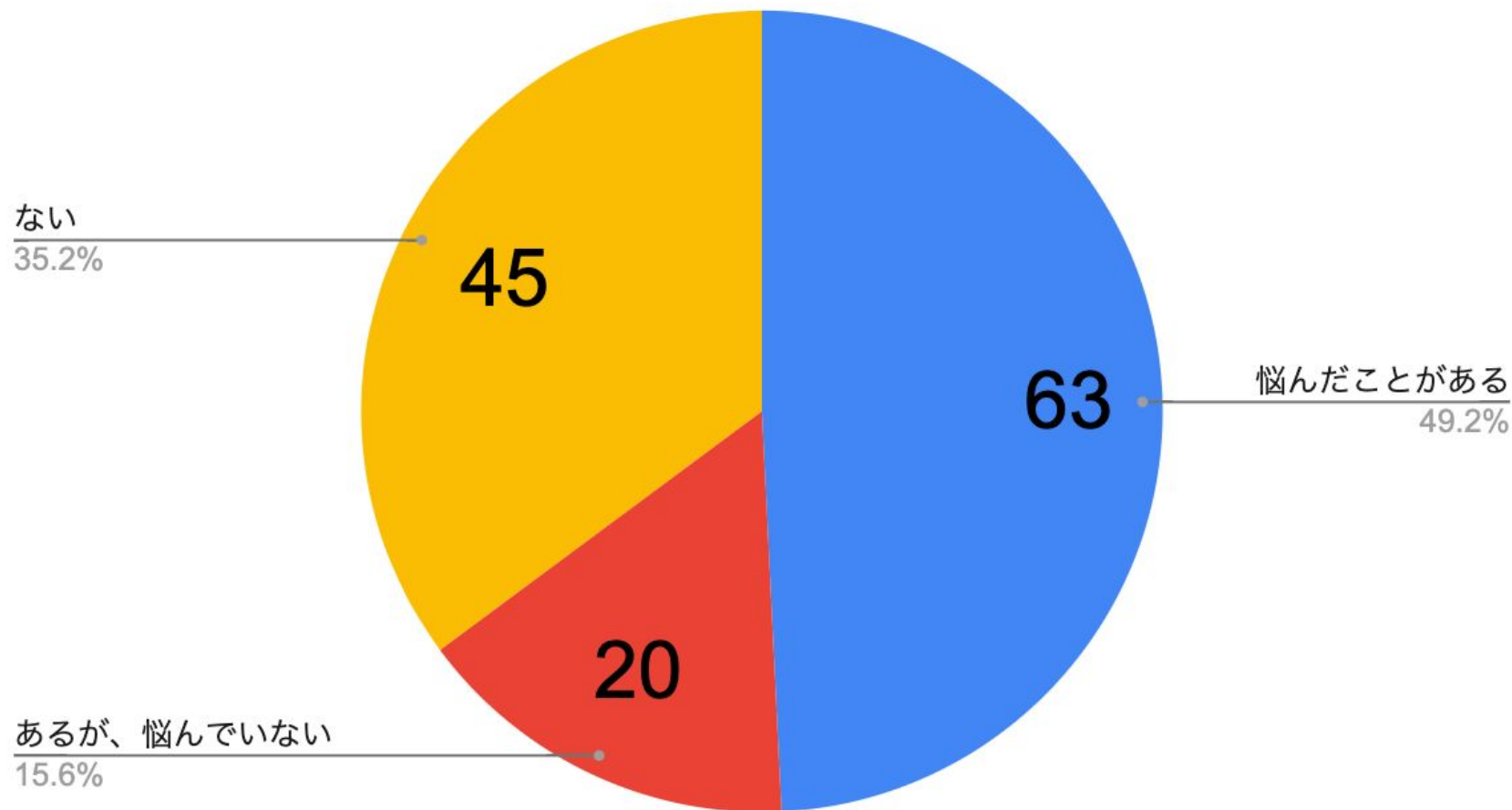
親との死別後/親の受傷後に心が不安定になった経験はありますか？



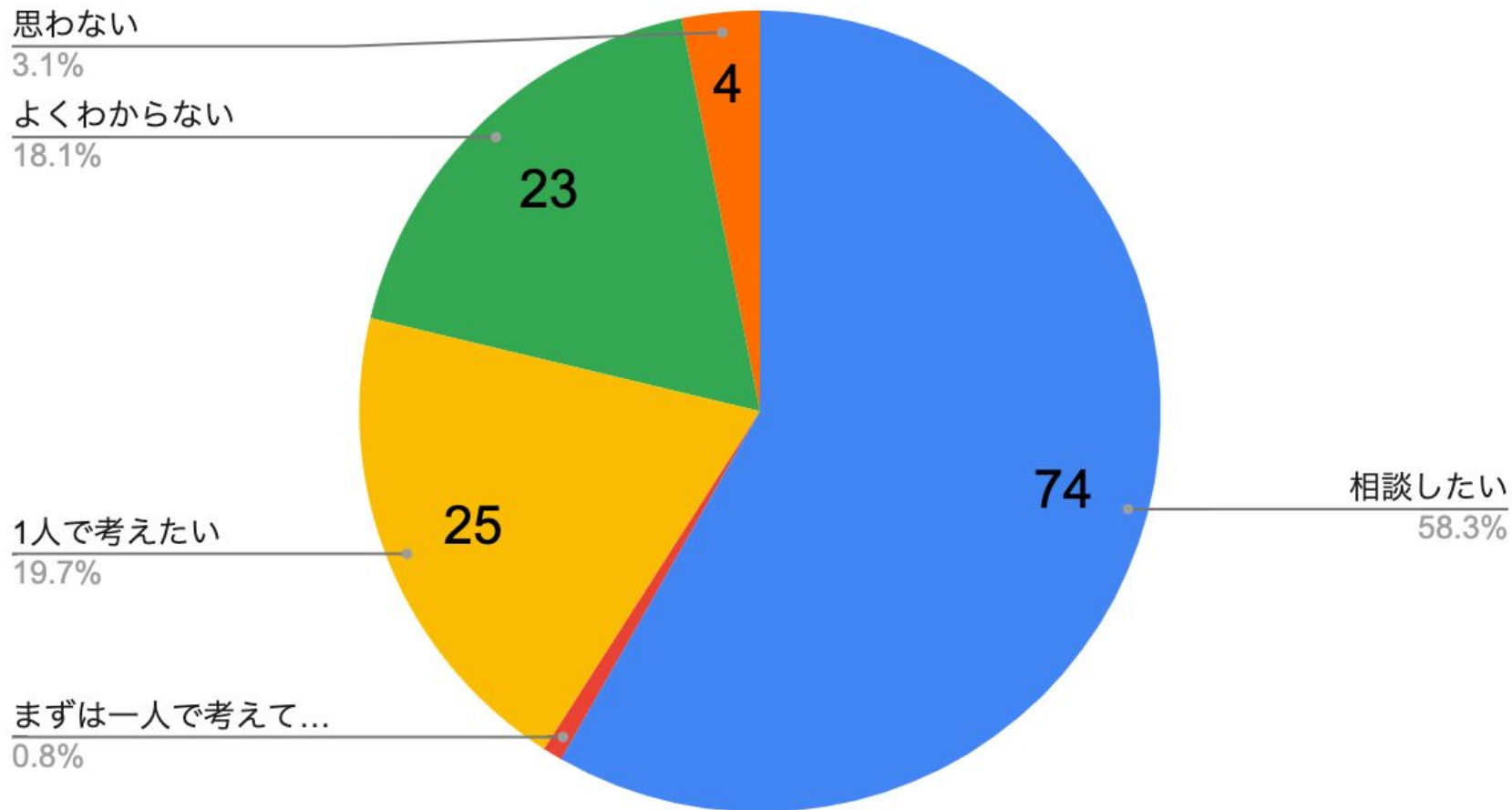
親との死別後/親の受傷後に専門家によるメンタルケアを受けたいと考えたことがあるか。



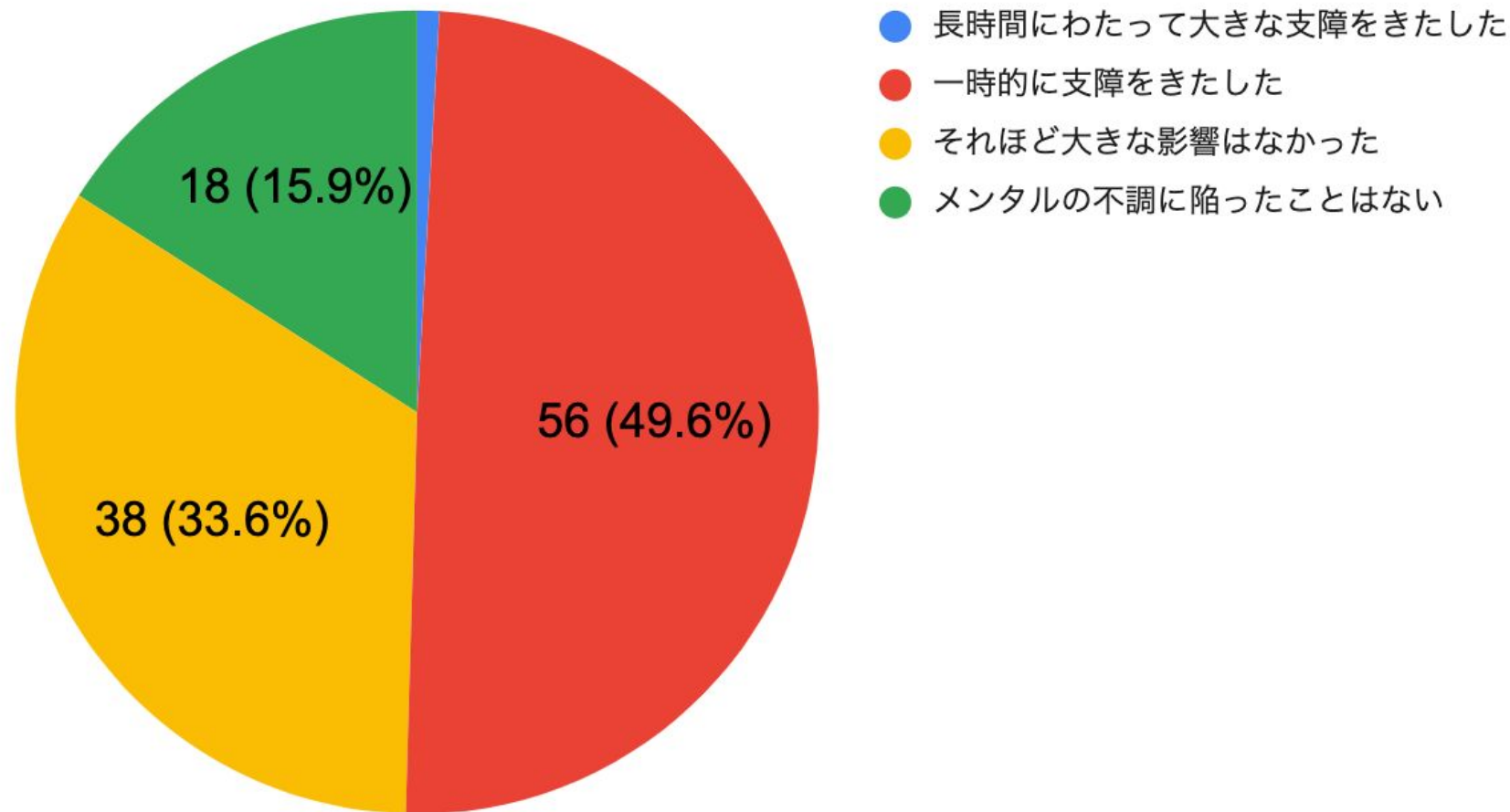
同居する家族が精神的に不安定になったことはありますか？



何か困った時に誰かに相談したいと思いますか？



メンタルの不調から学校生活に支障をきたしたことがあるか



メンタルの不調から日常生活に支障をきたしたことがあるか（
家事ができなくなった、動けなくなった、など）

